

ヘルプカードの記入の仕方

ヘルプカードに記入する内容は、身につけられる方のお身体等の状況によって異なります。また、すべての項目を記入する必要はありません。ご家族や支援される方などと相談しながら、必要な情報を記入してください。

①裏面の記入例

○苦手なこと・できないこと

会話することが苦手です。

○必要な支援など

ゆっくりと簡単な言葉で話してください。

このカードは、障がいのある方などが災害時や日常生活の中で困ったときに、周囲に配慮や支援を求めるためのものです。
ご協力をお願いいたします。

○苦手なこと・できないこと

例) コミュニケーションが苦手です。
体に触れられることが苦手です。
料金の計算が上手にできません。
足が不自由です。

○必要な支援など

手助けしてほしいことや配慮してほしいことを支援する人が分かるように具体的に記入してください。

例) 筆談で伝えてください。
書いてある情報を音読してください。
移動の際、介助してください。

②見開きの記入例

氏名： 八尾 太郎

住所： 八尾市本町一丁目1番1号

生年月日：1980 年 1 月11 日 血液型：A 型

(電話・FAX) 番号： 072 - 〇〇〇 - 〇〇〇〇

障がいや病気の名称： 聴覚障がい

かかりつけの病院： 〇〇病院

服用している薬等： 〇〇〇

<緊急連絡先>

氏名： 八尾 花子 (続柄 姉)

電話番号 072 - △△△ - △△△△

氏名： (続柄)

電話番号 - -

緊急連絡先カード

同封の「緊急連絡先カード」は八尾市社会福祉協議会が作成し、広く住民に配布しているものです。もしもの時に備えて普段から持ち歩くことで、緊急時にも速やかな対応が可能になります。ヘルプカードと併せてケースに入れて携帯することができます。

緊急連絡先カード



(お願い)このカードを持った方は、恐れ入りますが本人もしくは緊急連絡先までご連絡ください。

専用ケースについて

ヘルプカードの専用ケースは、社会福祉協議会 善意銀行(佐野満男基金)により作製しました。

【善意銀行(佐野満男基金)とは】

「障がい者福祉の向上に役立ててほしい」と故佐野満男氏から八尾市社会福祉協議会に対してご寄贈された寄付金です。

問合せ先

○ヘルプカードについて

八尾市 地域福祉部 障がい福祉課
八尾市本町一丁目1番1号
TEL:072-924-3838 FAX:072-922-4900

○緊急連絡先カードについて

八尾市社会福祉協議会
八尾市本町二丁目4番10号
八尾市立社会福祉会館 1階
TEL:072-991-1161 FAX:072-924-0974